

公表

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	やわらのココロ放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	2025年 3月 20日		～ 2025年 4月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	2025年 3月 20日		～ 2025年 4月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 28日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援内容に対して高い満足度を得ることが出来ている。	事業所オリジナルの支援プログラム、独自のツールの使用やアセスメントシートを活用しています。 子どもたち一人一人に合わせた支援内容を行うために支援前にミーティングを行い情報共有を密に行っています。 各スタッフの方向性を統一するために方針の設定を行っています。 連絡帳アプリを使用しているので写真付きでその日の支援内容が見えます。	支援プログラムの改善を行っていきます。 自己肯定感アセスメントシートを作成し施行を行い、成長を見える化していく。
2	子ども達が安心感を持って過ごすことが出来ている。	固定した担当のスタッフをつける事をせずに全スタッフが子どもたちの特性を理解しながらすべての支援プログラムに参加することが出来る 研修やミーティングを行い情報共有を行っています。 全スタッフが子ども達みんなと接することで話しやすく環境を作っています。	全スタッフが同じ方向性を向けるように定期的な研修を継続していく。 変化や気づきがあった際に終礼にて共有を徹底する。
3	適切な支援の提供	季節に合わせたイベントやプログラム、子ども達に合わせた運動プログラムを行うように工夫をしています。 難易度も成長に合わせた内容を設定しています。	自己決定や自己選択ができる環境の設定。 自身の気持ちや考えを伝える機会を増やしていく。 個々に合わせた運動の難易度の設定を増やす。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や地域の児童と交流する機会が少ない。	長期休暇、祝日の際に地域イベントや公共施設、店舗等のイベントへ参加が出来ている。 しかし平日の支援では地域との交流の場の活用が出来ていない。	平日も下校時間が早い日などに公共施設や地域の場を活用を行い地域と関わりを増やしていく。 柔道教室の子供たちとの関わる機会を作ります。
2	父母会などの保護者様が情報共有する機会が少ない。	保護者同士が顔を合わせるイベントが少ない。 保護者様、ご兄弟の方が参加できるイベントが少ない。	保護者会や交流会を開催し、参観や保護者様参加型のイベントを開催し 保護者様同士で相談ができる場を作ります。
3	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているが周知されていない。	事業所での訓練が行われているのですが 避難訓練を行っている際は連絡帳での発信を行っているのですが SNSでの発信が行われていない。	訓練を行う際にお知らせを行い、実施後もお知らせを行い周知を徹底していく。 SNSを活用して保護者様に周知を行っていきます。